

# いしおか 市議会 だより

No.95

## 令和7年 第1回定例会

(2月25日～3月21日)

Ishioka City Council News -No.95-

定例会は  
年4回

3月

6月

9月

12月



「魅力向上」のつぼみ、大きく花開くか（写真／第1回定例会で入園料金改定の議案が可決された いばらきフラワーパーク）

## INDEX

### —特集—

令和7年度予算、議会はどうみた？

～予算特別委員会～ …… 2

定例会・臨時会ドキュメント ……	4
代表質問 ……	10
一般質問 ……	12
常任委員会の活動 ……	19

# 令和7年度予算、 議会はどう見た？

予算特別委員会 [3月10日～3月13日]



## 令和7年度一般会計予算

総額 348億3,000万円

(前年度比 +10億2,000万円)

## 主な事業内容と予算額

■新入学祝記念品ランドセル贈呈	1,519万6千円
■移住定住コーディネーターの設置	566万円
■創業支援・住宅店舗等リフォーム支援	1,037万5千円
■市制施行20周年記念事業	368万7千円
■石岡市公式マスコットキャラクター 着ぐるみ作成	280万5千円
■上曽トンネル開通記念事業	560万円
■災害リスクに備えた防災体制の充実	2,738万8千円
■総合保健センター（仮称）設計業務	1億1,084万2千円
■地域ぐるみの有機農業の推進	723万5千円
■産業用地の確保と企誘致推進	1,288万4千円
■公共施設管理の包括的な民間委託の導入	1億7,713万7千円

### 予算特別委員会

新年度の当初予算案を詳しく審議するために、全議員が委員となり設置されるのが「予算特別委員会」です。

1～3日目は、各常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）が所管する部分についてそれぞれ審査が行われ、最終日となる4日目には、政策的判断を要する部分などを問う総括審査と採決が行われます。委員会の審査結果は、定例会最終日に本会議で報告された後、議会として「可決」「否決」等の意思決定が行われます。

各委員の質問の持ち時間は、各日1人当たり30分。限られた時間の中で、疑問点を市執行部にぶつけます。

委員会で質問が多かった主な事業を、Q&A形式でまとめました。

### 入学記念 庶務一般経費

質問者数 4人

新入学祝記念品としてランドセルを配布

**問** 予算が例年より多くなった要因は？また、配布方法は？

**答** 社会全般的な物価高の影響で、ランドセルも製造単価、人件費コスト、材料費等々を含め値上がりする予定を踏まえての金額。令和6年度より郵送しており、配送料込みの仕様で業者と契約をしている。

**問** 地元の業者が受注できていないが、うまい形で地場の産業に振り分けていくという考えはあるか？

**答** 次年度は、ランドセルを選ばない方への学用品の幅を広げるなど全庁的に様々な視点から検討していきたい。

### 施設管理 包括施設管理事業

質問者数 4人

包括施設管理業務委託料 1億7,713万7千円など

**問** 市外の業者に委託、丸投げして、その意向によって決まるので、地場産業育成ではなくなってしまうのでは？

**答** 基本的には市内の事業者優先に業務を発注するため、履行の担保ができるものと考えている。

**問** 包括を受ける事業者が利用する庁舎の家賃については無償ということだが、常任委員会ではどのように説明をしたのか？

**答** 資料を添付の上、後ほどご覧いただきたいという形での説明。重要な点については、できる限り丁寧な説明に努めたい。

財政

財政推計(試算)

質問者数

基金残高マイナスの要因は 6人

問

歳出の投資的経費がとて大きくって  
しまうのは、昨年は見込んでいなかった  
市民ホールや幹線道路の事業が今年はある  
程度見込め、反映させたのでこれだけ  
大きなマイナスインパクトが出てしまっ  
たという理解でいいのか？

答

一部施設について今回入れた部分はある  
が、人件費と物件費の伸びがかなり大き  
いことが要因。

問

ビルドアンドスクラップによる事業の見  
直しを実施するとあるが、具体的に何を  
スクラップするのか？

答

今は第2期基本計画の中、PDCAサイ  
クルを回し、成果が上がらないものを見  
直していくことを繰り返していきたい。

公園

公園維持管理経費

質問者数

トイレ設置工事 3人  
4,794万5千円を計上

問

トイレ設置工事の内容は？

答

八軒向第3公園において屋外トイレの  
設置工事を行う。東小学校付近にはトイ  
レが設置されている公園がないため、比  
較的利用者の多い八軒向第3公園に屋  
外トイレを設置するもの。

問

設計が終わっているとのことだが、仕様  
は？

答

建物は鉄筋コンクリート造りで、男子ト  
イレは、小便器2基、洋式大便器1基、  
手洗い器1基。女子トイレは、大便器  
2基、手洗い器1基。ほかに多目的ト  
イレ、外水洗1基で、延べ床面積は約  
22平米を計画している。

20周年

市制施行20周年  
記念事業

質問者数

記念品113万8千円など 3人

問

市制施行20周年記念事業は、式典の予  
算ということで理解をしたが、実施場所  
はどこか？

答

中央公民館大講堂で実施予定。日時は、  
令和7年10月4日の午後1時半から  
4時までを予定している。

問

子どもたちに向け何か記念に残るものは  
必要だと思う。予算の増額も含めて、市  
長の考えは？

答

提案のとおり、記念品を市内小中学校の  
児童生徒に贈ることを指示していき  
たい。市民の皆様と共に、この20周年を  
お祝いできる1年にしていきたいと考  
えている。

高齢者

高齢者等支援事業

質問者数

敬老事業委託料 3人  
1,412万9千円

問

敬老事業委託料の内容と、これにかかる  
郵便料は？

答

敬老事業プラチナ応援券1,000円を対  
象者1万3,890名に送付する事業。郵  
便料は、110円プラス簡易書留代が  
350円、1万4,000人分で644万円  
を見込んでいる。

問

これだけかけてしまう送料を考えると来  
年度以降は賛成し難い。担当課として改  
善の考えはあるのか？

答

どういった方策がいいのか見直しを検討  
したい。このやり方がマストということ  
ではなく、もっといいやり方があれば移  
行していきたいという考えはある。



総務企画



文教厚生



産業建設



総括



これらの質問を踏まえた  
審査結果は次ページ以降へ！

▲すべての質問を網羅した、予算特別委員会の録画映像はこちら

# 定例会・臨時会 ドキュメント

◆第1回臨時会 [1月31日]  
◆第1回定例会  
[2月25日～3月21日]

## 第1回臨時会 緊急 質問を実施

池田正文議員から緊急質問の申出があり、採決の結果、賛成多数で日程に追加され、「今回の臨時会に臨む市長の姿勢について」緊急質問を行いました。

## 第1回臨時会 補正 予算1議案可決

第1回臨時会では、市長から補正予算1件の議案が提出されました。

令和6年度一般会計補正予算(第9号)は、2億5372万円を追加し、歳入歳出総額を356

億9724万9000円とするもので、歳出の内容としては、民生費において、国の低所得者支援として、住民税非課税世帯に1世帯当たり3万円、扶養されている18歳以下の児童1人当たり2万円を給付する物価高騰重点支援給付金給付事業2億5336万2000円の増などです。



### 緊急質問

臨時会における一般質問は許されないが、質問が緊急を要するとき、その他真にやむを得ないときは議員の申し出を受け議会の同意を得て質問することができます。

【緊急を要する場合】

火災、水害、地震、盗難、責任問題その他事態が緊急の措置をとるものなど

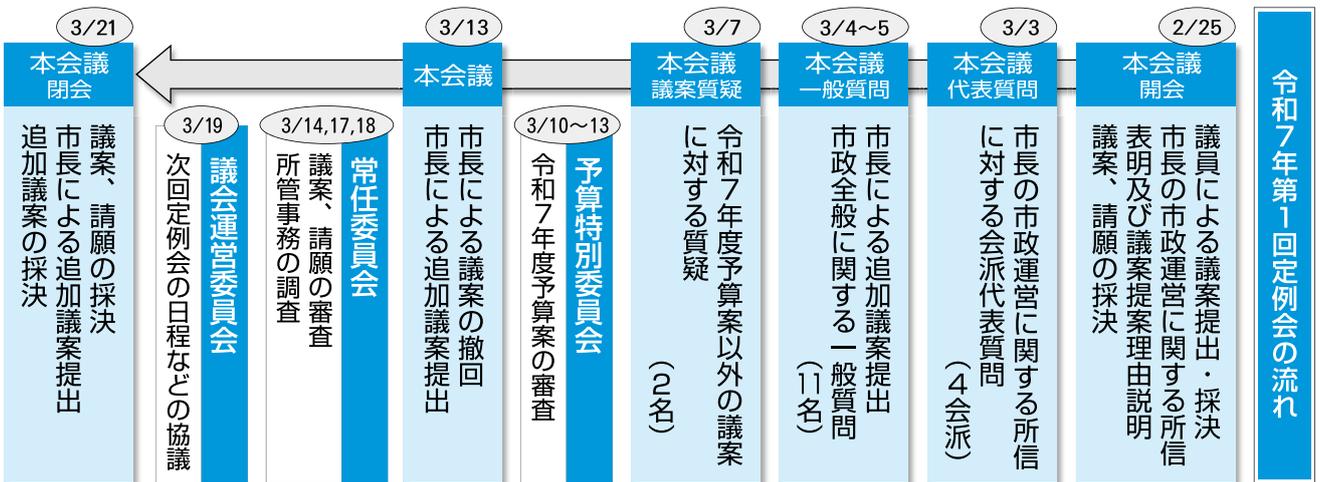
## 第1回定例会 開会 日 決議案、議員提出議案を可決

山本進議員ほか6名から「谷島洋司市長に対する辞職勧告決議」、池田正文議員ほか10名から「石岡市議会基本条例の一部改正」に係る議案が提出され、採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました(詳細は6・7ページ)。

## 第1回定例会 令和 7年度予算の審議

第1回定例会では、令和7年度各会計予算、令和6年度補正予算、石岡市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正など、市長から48件の案件が提出されました。

このうち、令和7年度予算編成について、市長からは「昨今の物価の高騰など、行財政を取り巻く環境は厳しいが、複雑化・多様化する課題に対し柔軟に対応しながら、限られた財源を効果的・効率的に活用し、総合計画の将来像である『誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市』を実現していくため、予算編成を行った」との説明があ



補正予算の主な事業と予算額		
第1回臨時会	■物価高騰重点支援給付金給付事業	2億5,336万2千円
	■過誤納還付金（国・県負担金精算に伴う返還等）	2億1,499万2千円
第1回定例会	■複合文化施設整備事業	基本計画策定業務委託料 220万円
	■障害者自立支援給付事業	障害児給付費 4,435万3千円
		障害介護給付費 1億752万6千円

りました。  
議会議では、令和7年度各会計予算を詳しく審議するため、予算特別委員会を設置して4日間にわたり審査を行いました。

## 令和7年度予算以外 の主な議案の概要

定例会最終日に予算特別委員長から「いずれも原案可決すべきもの」との審査結果が報告され、討論の後、採決を行った結果、令和7年度各会計予算はいずれも原案のとおり可決しました。

令和6年度石岡市一般会計補正予算（第10号）は、歳入歳出それぞれ7億7311万8000円を減額し、歳入歳出予算総額を34億2413万1000円とするもので、事業費の確定等により財源調整が必要な経費、後年度の財政負担軽減を図るための基金の調整及び緊急性の高い事業等に対応する経費で構成されています。  
石岡市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に沿った所要の改正をするものです。  
石岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正は訪問相談、指導等の業務及び異常な自然現象により災害が発生した現場で行う業務に従事する職員の勤務に対応するものです。

茨城県フラワーパーク条例の一部改正は、維持管理経費等の高騰に伴い、茨城県フラワーパークの入園料金を改正するものです。

	改正前	改正後
大人（個人）	1,500円	2,400円
小人（個人）	500円	800円

▲フラワーパーク入場料上限額を改正  
※繁忙期や閑散期など、時期によって入園料を変更

損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解議案は、令和5年5月18日、石岡市柿岡地内にて職員が公用車運転中に発生した物損事故、令和6年8月22日、石岡市国府五丁目地内にて、職員が公用車を運転中に発生した人身、物損事故に係る物件損害について損害を賠償し和解するものです。  
茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更は、日立市及び稲敷地方広域市町村圏事務組合が加入することに伴い、茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約を変更するものです。

石岡市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例の制定は、令和7年3月1日から令和7年3月31日までの間、市長及び副市長の給料月額を1ヶ月それぞれ50%減ずることに伴い、条例を制定するものです。

## 定例会最終日 市長 提出議案、委員会提 出議案を可決

今回市長から提出された議案等は、開会日に採決した1議案、内容に誤りがあったとして撤回された議案（損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解）、最終日に追加提出された議案4件を除き各委員会に付託して審査を行い、最終日に採決を行った結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議会運営委員会から「石岡市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正」に係る議案が提出され、全会一致で可決しました。

質疑から読み解く

## ギカイの視点



条例

予算

決議

## 谷島洋司市長に対する辞職勧告決議

反省の姿勢が見えず議会批判で応じる態度に対し、今年度2度目の辞職勧告決議を可決

第1回定例会

山本議員ほか6名の議員により提出された本決議案は、令和6年第4回定例会において可決された「谷島市長の辞職を求める決議」に続き、今年度2度目となる谷島市長に対する辞職勧告決議です。1度目の決議で指摘した内容について、反省する姿勢が見られず、令和7年第1回臨時会での緊急質問への対応についても問題であると考え、石岡市の未来を切り拓くため、谷島市長に潔く職を退くよう求めるものです。採決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、この決議は不信任決議とは異なり、法的拘束力はありません。

## 谷島洋司市長に対する辞職勧告決議（全文）

われわれ石岡市議会は、令和6年第4回定例会において谷島市長の辞職を求める決議を可決し、谷島市長の市政運営における戦略性の欠如、事業の進め方の不手際、または危機管理能力の欠如などを指摘した。

しかし、当該決議後に新聞等で報じられた市長の発言からは、自らの市政運営に対する反省や、議会との対話を重んじ相互理解を深めようとする姿勢は見られず、「議会のルールが無視されている」「紆余曲折と言われる筋合いはない」などなど、議会からの指摘に議会批判で応じるという態度に終始した。

これらに対しては、本年1月31日に招集された令和7年第1回臨時会における緊急質問の場で同僚議員が質したところであるが、市長はこの質問に反問権の行使という形で応じた。

そもそも反問権は、われわれ石岡市議会が、議会基本条例を定める際に市長及び他の執行機関に付与した権利である。しかしながら、第1回臨時会で谷島市長が行った反問権の行使は、反問を通じて質問者に質問の主旨をそらさせ、最終的に答弁を逃れる手段とするための行使であった。これは、権利を付与したわれわれ石岡市議会の意思に反し、議会制度を冒瀆する行為である。

われわれは、令和6年第4回定例会で行った谷島市長の辞職を求める決議によって、第一には市長が職を辞すること、第二には市長が過去の態度を深く反省し、議会と議論を深めながら市政運営を行っていくことを強く願った。しかし、これまで述べてきたように、決議後の市長の態度はわれわれの願いをことごとく裏切るものであり、谷島市政は極めて独善的な運営に陥りつつある。

よってわれわれは、令和6年第4回定例会と同様に、石岡市と石岡市民をこの停滞から救い出し、石岡市の未来を切り拓くため、石岡市民を代表して、谷島市長に潔く職を退くよう求めるものである。

以上、決議する。

? 決議

議会の意思を対外的に表明するためになされる、議会の議決のこと。



議会用語集

**条例** 石岡市議会基本条例の一部改正

石岡市議会基本条例から反問権に対する規定を削除

池田議員ほか10名の議員により提出された本議案は、反問権の本来の趣旨を大きく逸脱した市長の令和7年第1回臨時会における緊急質問での行為を受け、権利を付与した議会として厳しい対応を取らざるを得ないことから、石岡市議会基本条例から反問権に関する規定を削除するものです。

議員からは、「令和7年第1回臨時会における緊急質問の際、市長が複数回にわたり行使した反問権は、自己の意見を主張するばかりでなく、明らかに質問した議員に対し反論を行い、最終的には答弁を逃れる手段とするために行使したものと言わざるを得ず、質問者を愚弄する行為と感じたところである。このことは、条例に規定された反問権の本来の趣旨を大きく逸脱しており、反問という権利を執行部に与えた議会に対しての挑戦的な行為であるとともに、市長が条例で規定された反問権を行使する上でのルールを全く無視して議会に臨んでいることの流れである。」などの提案理由の説明の後、質疑を経て、賛成多数で可決されました。

**反問権とは**

議員からの質問に対して、質問が不明確だった際に論点・争点を明確にするため、執行部が質問の趣旨を確認する権利。石岡市議会の最高規範として制定している石岡市議会基本条例第8条第2項に規定されていた。

**問**

質問の趣旨を確認するという権利は一定程度必要ではないかと考えるが、権利自体を否定しているのか、今回の谷島市長の運用に問題があったのか、どのような認識か？

**答**

反問権の必要性については、全否定をするものではない。今回の市長の運用については、全くもって言語道断、聞いてられないという思い。

**条例** 茨城県フラワーパーク条例

入場料の規定を一部改正

近年の物価高騰に伴う施設の維持管理に要する原材料費等の高騰。エネルギー価格等、光熱水費の高騰。また、最低賃金の改定に伴う、人件費等の増加などに対応し、引き続き安定した管理運営を行うため、入園料金の値上げを行うもの。

**問**

実際いくらの値上げを検討しているのか？

**答**

上限額は2,400円だが、令和7年度の入園料金は、最大で1,800円を予定している。

**問**

今回の値上げで、入園者数が伸びるのか、減るのか、どのような想定をしているのか？また、その根拠は？

**答**

令和5年度は約23万人であったが、令和9年度の25万人を目標に、花の時期以外の閑散期に音楽イベントであったり、マルシェなど各種イベント等を開催し、入園者の増員を目指している。

**条例** 石岡市議会の個人情報の保護に関する条例

法改正に伴う所要の整備

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正等により、市議会の保有する個人情報の適正な取扱いについて所要の整備をするため、当該条例の一部を改正するもの。

**改正内容**

罰則規定の懲役刑・禁錮刑の廃止により拘禁刑への改正、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う改正、全国市議会議長会から、番号利用法の改正による標準的な条例の改正案と整備を含めた改正案の通知があり、その標準的な条例に合わせる形で改正を行った。

**議会のしくみ**

令和5年4月1日に個人情報保護法が改正、議会は改正法の適用除外とされたことから、議会独自の条例を制定しています。

請願

請願の審議

受理した請願2件について結論を出しました。

- 上林・上曽線整備事業（当初計画路線）の早期実現に関する請願（紹介議員：岡野孝男、菱沼和幸、池田正文、山本進、川井幸一）

**請願趣旨** 重要な幹線道路「上林・上曽線」の道路改築工事について、現段階ではこの暫定道路を早急に整備し、本来の計画路線の着手に向けて、茨城県など関係機関と協議し、当初計画路線の早期実現に向けて調査費等予算の確保を積極的に進めることを求める

**審査委員会** 産業建設委員会

**委員会の意見** 委員から執行部に対して、事業の経緯や整備内容についての質問があり、執行部からは、「平成17年に合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の指定路線を受けていることや、現在、浦須橋付近から下宿交差点に向かう現道拡幅による暫定路線の整備を優先して進めている状況である」との説明がありました。これを受け委員からは、「暫定路線が完成した後に、この暫定路線を当初計画路線にすり替えないで欲しい」などの意見がありました。

**審査結果** 採択

- 「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願（紹介議員：小松豊正）

**請願趣旨** 政府は、最低賃金の全国一律制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。最低賃金の引き上げとセットに税や社会保険料の事業主負担の軽減など中小企業への具体的経済支援策を国の責任で拡充すること。茨城地方最低賃金審議会は、茨城県の最低賃金を物価高対策として令和7年10月に1,500円以上に引き上げ、最低生計費試算調査結果を踏まえ1,700円をめざすことを要望する旨の意見書を政府及び関係機関へ提出を求める

**審査委員会** 産業建設委員会

**委員会の意見** 委員からは、以前提出された請願の審査の内容について言及があり、その後、「最低賃金という一つの基準は、その地域の状況を考えなければならないもので、そのような複雑な状況で、地方議会がどれだけの全国の雇用状況を把握できているのかと疑うところである」との意見や、「非正規を守るというこの請願の願意は十分理解はできるが、前回と同じように、地方議会から意見書を出すものなのかということには疑問が残るため、この請願は不採択ではないかと考える」との意見が出されました。

**審査結果** 不採択

# 議案の審議結果

## ■全会一致で可決

### 令和7年第1回臨時会

予算 令和6年度石岡市一般会計補正予算（第9号）

### 令和7年第1回定例会

予 算	令和7年度石岡市駐車場特別会計予算
	令和7年度石岡市霊園事業特別会計予算
	令和7年度石岡市介護サービス事業特別会計予算
	令和7年度石岡市水道事業会計予算
	令和7年度石岡市公共下水道事業会計予算
	令和7年度石岡市農業集落排水事業会計予算
	令和6年度石岡市一般会計補正予算（第10号）
	令和6年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
	令和6年度石岡市駐車場特別会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市霊園事業特別会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第5号）
	令和6年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）

### 令和7年第1回定例会

予 算	令和6年度石岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	令和6年度石岡市水道事業会計補正予算（第3号）
	令和6年度石岡市公共下水道事業会計補正予算（第4号）
	令和6年度石岡市農業集落排水事業会計補正予算（第3号）
条 例	令和6年度石岡市一般会計補正予算（第11号）
	石岡市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部改正
	石岡市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
	石岡市職員の給与に関する条例等の一部改正
	石岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
	石岡市手数料条例の一部改正（航空写真又は地番付き航空写真の交付手数料）
	石岡市手数料条例の一部改正（宅地造成及び特定盛土等規制法に係る中間検査手数料）
	石岡市土採取事業規制条例の一部改正
	石岡市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正
	石岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	石岡市デイサービスセンター条例の一部改正

## ■全会一致で可決・採択

令和7年第1回定例会	
条 例	石岡市特別養護老人ホーム条例の一部改正
	茨城県フラワーパーク条例の一部改正
	石岡市下水道条例の一部改正
	石岡市布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事等を定める条例の一部改正
	石岡市消防団条例の一部改正
	石岡市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
人事	石岡市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例の制定
	人権擁護委員の候補者の推薦 (木崎早苗氏、三輪寛氏、片岡賢氏)
その他	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解 (公用車の物損事故に係るもの)
	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更

令和7年第1回定例会	
その他	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解 (公用車の人身、物損事故に係るもの)
	工事請負契約の締結 (令和6年度 八郷学校給食センター中規模改修 第2期工事)
	「工事請負契約の締結について」の一部変更 (令和6年度 石岡市海洋センタープール施設改修工事)
	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解 (公用車の人身、物損事故に係るもの)
議員提出	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解 (公用車の人身、物損事故に係るもの)
	石岡市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正
請願	上林・上曾線整備事業(当初計画路線)の早期実現に関する請願(紹介議員:岡野孝男、菱沼和幸、池田正文、山本進、川井幸一)

## ■賛否が分かれたもの(賛成多数で可決)

※「○」は賛成、「●」は反対、「-」は退席等  
※議長は採決に加わりません。

案件名	議員名																				
	鈴木将史	富田雅史	中根淳一	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	高野要	鈴木行雄	
令和7年度石岡市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度石岡市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度石岡市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度石岡市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
谷島洋司市長に対する辞職勧告決議	●	●	●	○	○	○	-	○	○	-	○	●	-	○	●	○	-	●	○	○	○
石岡市議会基本条例の一部改正	●	●	●	○	○	●	-	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○

## ■賛否が分かれたもの(賛成少数で不採択)

案件名	議員名																				
	鈴木将史	富田雅史	中根淳一	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	高野要	鈴木行雄	
「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願(紹介議員:小松豊正)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●

《会議の欠席状況》 2/25、3/3～3/7 本会議 川井幸一 3/3 議会運営委員会 岡野孝雄  
3/7 予算特別委員会 川井幸一・高野要 3/10・3/11 予算特別委員会 川井幸一  
3/13 文教厚生委員会 勝村孝行 3/13 本会議 飯村一夫・川井幸一・勝村孝行  
3/13 予算特別委員会 飯村一夫

### 【おわびと訂正】

いしおか市議会だより第94号におきまして、掲載漏れがございました。訂正しておわびを申し上げます。

・12ページ議案の審議結果

《会議の欠席状況》 12/9 本会議 中根淳一・櫻井茂 12/10 本会議 中根淳一  
12/11 本会議 中根淳一・飯村一夫 12/12 本会議 中根淳一  
12/13 文教厚生委員会 中根淳一

市長に聞く！

# 代表質問

[3月3日]

市政に関する調査研究などの議会活動を共同で行う「会派」を代表する議員が、次年度に向けて示された市長の所信表明の内容を直接問いただす代表質問。

所属議員3人以上の会派が質問することができます。

質問会派 (所属人数)	所属議員	質問者	質問項目	頁
しほうかい 紫峰会 (7名)	岡野 孝男 (代表)	中根 淳一	令和7年度 市政運営に関する所信 と施策概要	10
	関口 忠男			
	村上 泰道			
	谷田川 泰			
	中根 淳一			
	富田 雅史			
	鈴木 将史			
せきしょうかい 石翔会 (4名)	川井 幸一 (代表)	新田 茜	令和7年度 市政運営に関する所信 と施策概要	11
	櫻井 茂			
	新田 茜			
	鈴木 康仁			
じみんこうめい 自民・公明 クラブ (3名)	菱沼 和幸 (代表)	菱沼 和幸	令和7年度 市政運営に関する所信 と施策概要	11
	玉造 由美			
	岡野 孝雄			
ちしんかい 知新会 (3名)	池田 正文 (代表)	勝村 孝行	令和7年度 市政運営に関する所信 と施策概要	11
	勝村 孝行			
	飯村 一夫			

(注) 会派及び所属議員の構成は、代表質問実施(令和7年3月3日)時点のものです。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。

**問** 二元代表制の本旨を踏まえ、議会に真摯に向き合っていくと所信にありましたが、具体的にどのような取り組んできたか。また、今後どのようにするのか、伺います。

議会も二元代表制の一翼を担う存在として、市長との適切な距離、執行部との緊張関係は保ちつつも、常に対等に対話・議論ができる関係構築をしていかなければならず、総合計画の実現に向け市政を前進させていくため、協力すべきところは協力していかなければなりません。市長の提案のとおり、これまでに以上に市民、議会、現場を支える市職員など、あらゆる主体との対話の機会の充実をお願いしたいと思えます。

**答** 市長と議員は、市民の直接選挙により選ばれた代表です。市政を進めるためには、議員の皆様丁寧な説明の上、理解を賜る必要があると感じています。このため、重要事項等について、委員会の場やその他の機会において、積極的に説明をするよう指示しているほか、議会に対し検討させていただくとした事項については、進捗管理を行うよう対応しているところです。

しかし、説明不十分であるとの意見を真摯に受け止め、今後は、会派ごとの意見交換や、各委員会における意見交換で過不足があると思われる点の個別フォローなど、より丁寧な説明に努めたいと考えます。

しほうかい  
紫峰会

議会との向き合い  
方 市長の考えは

【質問者】中根 淳一



動画

せきしょうかい  
石翔会

## 新規事業の減少 事業展開の意識は

【質問者】新田 茜



動画

問

新年度の新規事業は、谷島市長が就任されて以降、最も少ない事業数です。令和7年度においては、新規事業は6年度の3分の1以下の8事業、拡充は約半分の7事業です。新規事業、拡充事業が例年よりも大幅に少ない理由を含め、新年度における事業展開の意識について伺います。

所信において石岡市の雇用情勢には触れているものの、リーディングプロジェクトには商業の活性化支援に関する内容が含まれていません。当市の業態別の生産高において、商業に関する生産高は大きなウエイトを占めると考えますが、なぜ取り上げていないのか、理由について伺います。

答

第2期基本計画を策定し、1年目である令和6年度の施策は新規事業が多かったことから、令和7年度はその歩みを継続すること、そして、必要に応じ事業の拡充や創設を計画しました。限られた予算の中で最大の効果を得られるよう、各プロジェクトにおいて当市に必要な施策を厳選したところでです。

商業の活性化支援に向けた事業について、輝く「暮らし」プロジェクトに掲載がないとのご指摘については、移住・定住事業にも関わる事業として、人口減少対策プロジェクトのステージ6移住・定住支援に、創業支援、住宅・店舗等リフォーム支援として掲載したところです。

じみんこうかい  
自民・公明クラブ

## 防災・減災政策で 他市との差別化を

【質問者】菱沼 和幸



動画

問

他市と同じ政策を打ち出して競い合っている中、人口増加等にはつながらないと思います。スロウガンは高く掲げ、石岡市はすごい、すばらしい、さすがだと言えるようにすることによって、当市に移住、定住しようと思ってくれる取組が重要だと思えます。大規模地震は近未来に必ず起こり得ると思います。他市と差別化するような仮称防災・減災環境都市宣言について、見解を求めます。

また、高浜駅の橋上化と駅周辺整備は、高浜地区に住む方や高浜駅を利用する方は、長年、待ち望んでおります。事業化に向け、市長の力強いリーダーシップの英断を求めます。

答

議員ご指摘のとおり、大規模災害は近い将来、発生するとの予測も出ており、当市の防災・減災対策は重要であり、迅速に対応していく必要があると考えています。リスクを洗い出した上で、必要な防災・減災機能を強化し、都市宣言ができるような、災害に強く、安全安心に暮らせるまちづくりに向け取り組んでいきます。

高浜駅は、市民生活になくはならない、当市の公共交通拠点の一つであると認識しています。将来的な駅周辺の一体的なまちづくりを総合的に検討を行う、担当職員などを配置、高浜エリアの様々な課題解決に向け、取り組んでいきたいと思えます。

ちしんかい  
知新会

## にぎわいの創出と 合併への考えは

【質問者】勝村 孝行



動画

問

県内各地でもすばらしい大型化の道の駅がいくつか存在し、連日にぎわいを見せています。石岡市にも道の駅を整備すれば、それらを上回る事業展開が期待できるのではと感じます。ぜひ国・県の協力をいただき、すばらしい道の駅をつくってほしいと思えます。見解を伺います。

今後の人口減少時代に対応するため、私の思いですが、10万都市を目指し、広域的な視点、具体的には近隣市町村との合併も検討する時期に来ていると感じます。例えば小美玉市の場合、茨城空港があり、あるいは石岡駅、そうといった連携、活用が期待されると思えますが、考えを伺います。

答

道の駅については、観光客の誘客による交流人口の拡大やにぎわいの創出、買物・食事等の提供による地域経済の活性化、雇用の創出、おまつりの駐車場など、効果は多大であると認識しています。一方で膨大な費用が必要となり、財源の確保や費用対効果、場所、整備機能の選定、運営方法などの検討が必要でです。

先進地の調査、勉強会の立ち上げ等、実現に向け検討したいと思えます。

将来を見据え、近隣市町村との協力体制は不可欠であり、広域連携体制の強化を図りつつ、まずは議会の皆様と議決をいただいた「誰もが輝く未来へ共に創る石岡市」の実現を図りたいと思えます。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

市政を問う!

# 一般質問

[3月4日～3月5日]

各議員が、市の行う事業の内容を問いただしたり、政策提案をしたりする一般質問。

議員と市執行部との真剣勝負が繰り広げられます。

質問者	質問項目	頁
櫻井 茂	キャッシュレスシステムの活用	13
	市職員の早期退職抑止策	
	統計予算主義の原則	
岡野 孝男	園部出張所が行ってきた事務を園部郵便局において取り扱うこと	14
	上曽トンネル開通までの工程	
	土砂等による土地の埋立て等	
谷田川 泰	今後のインフラ整備のあり方 職員のコンプライアンス、資質の向上	14
小松 豊正	県の1県1水道構想に対する対応	
石岡市の介護保険制度の問題点と改善の方向性		
新田 茜	プラスチックごみの再資源化	15
	石岡市における防犯対策事業	
鈴木 康仁	石岡市の小・中学校における文化芸術鑑賞・体験推進	15
	公共施設・遊休地等の管理	
	上林・上曽線整備状況	
	石岡駅周辺の活用状況	
	都市計画区域の見直し	

質問者	質問項目	頁
村上 泰道	石岡市社会福祉協議会の運営	16
	石岡市観光協会	
	会計年度任用職員	
玉造 由美	带状疱疹ワクチンの定期接種化	17
	不登校支援と相談体制	
鈴木 将史	石岡市内主要幹線道路	17
	シティプロモーション	
富田 雅史	スポーツ交流施設の更なる有効活用	18
	地域の特徴を活かしたスポーツによる地域振興	
飯村 一夫	公共施設（公民館）の利用	18
	小中学校統合再編計画、跡地利用計画	
	合併特例債事業	

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



紙面の都合上、    で色付けした項目のみ掲載しています。

※スマホなどで、各議員のページに掲載している二次元コードから、すべての質問の録画映像をご覧ください。



さくらい 櫻井 しげる 茂

## デジタル商品券発行実証 事業の分析を基に、次の 施策推進を



動画

**問** 令和4年度、マイナナンバーカードの普及促進を図ることを目的にデジタル商品券発行実証事業が実施され、プレミア40%が大きな反響を呼びました。商業の活性化についてはどのような影響があったかは分析していると思うので、その点について伺います。

**答** 利用者向けアンケートでは、ふだんより消費が増えた方は7割、約半数がふだん買物しない店舗で購入したと回答しており、店舗向けアンケートでは、売上げ増加店舗は約25%、新規顧客が増えたと回答した店舗は約4割、今後モデジタル商品券を望む店舗が8割との結果が出ています。明確な数字で示すことは難しい点もありますが、店舗向けアンケート結果からも一定の効果があつたと考えます。

マイナナンバーカードの認証や特定のクレジットカードしか登録できないなど、分りにくい手続も実際ありました。システムの改良を行うことで、さらには窓口を設けて手続支援を行っていくというところで、利便性がアップするものと思います。それなのに、多額の費用を投入したシステムをその後、再利

用する動きがない、この現状は非常に残念に思うところです。システムを活用した事業展開について具体的な検討をしているのか伺います。

デジタル商品券発行実証事業で使用したシステムは現在も使用できるものとなっておりますが、新たな活用の具体的検討には至っていない状況です。購入や決済の手軽さ、換金手続が不要、売上げ管理や実施状況の集計・分析が容易である点は確認が取れています。さらに、市独自ポイントや給付制度としての利用も考えられています。既存のシステムを有効活用し、キャッシュレス決済、また独自利用等が展開できるよう、さらに庁内関係部局等と連携して進めていきたいと思っております。



おか の 岡野 たかお 孝男

## 上曾トンネル、上林・上曾線の整備スケジュールは



動画

**問** 上曾トンネル開通に関しては、内外ともに関心のある事業の一つです。上曾トンネル本体の進捗状況について伺います。

**答** 令和7年2月末現在、石岡工区のトンネル本体の進捗状況は、警報設備や換気設備等の設置が完了し、防災設備の配管工事が施工中です。7月末の配管工完了後、一連のトンネル設備の総合試験を行う予定です。取付け道路工事は、道路改良工事並びに附帯工事を発注し整備を進め、8月末までの完成を目指しています。

上林・上曾線については、1工区はクランク部の残り区間の道路改良工事を発注し、年内開通を目的に進めていく予定です。2工区は盛土工事を行いながら電柱等の支障物件移設を進める予定ですが、一部用地で相続未登記により用地取得に時間を要することが見込ま

次に、信号機の設置についてどのように進んでいるのか伺います。

令和7年度中の供用開始が難しいことから、令和8年度の完成を目指し取り組んでいきたいと考えます。

3か所の信号機の設置について、トンネルからのアクセス道路とフルーツラインの交差点は、トンネル開通までに設置できる予定です。トンネルからの取付け道路と主要地方道石岡筑西線との交差点は、開通後の交通量を見極め検討していく予定です。上林・上曾線と一般県道土浦笠間線との交差点は、道路改良工事の完成に合わせ設置していく予定です。



▲銘板を披露した上曾トンネル

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



### 職員の度重なる不祥事について 具体的な改革、どのように取り組むのか



**問** 昨年、石岡市の職員による不祥事が相次ぎ、マスコミ等で大きく報道され、他自治体、そして市民からの信用は大きく失墜したと私は思っています。小手先だけの改革にとどまることなく、具体的な改革を強く求めるところです。全職員がコンプライアンス研修を受講できるように階層別に毎年度実施していながら、一連の度重なる不祥事が起こっているわけです。研修の成果が反映されていないのではな

いかと感じますが、研修の効果及び評価はどのようにしているのか伺います。

**答** 研修の効果については、研修終了後の受講者へのアンケートを実施し、集計結果から検証及び評価を実施しています。公務員倫理、コンプライアンス研修において

は、研修の受講により公務員としての倫理観、コンプライアンスの重要性を再確認できたといった意見、危機管理研修においては、不祥事の未然防止として組織対応が絶対的に必要であることが理解できた、不正が起りやすいため原因と起きてしまったときの対応について学べたなどの意見

市トップとして市長は、職員の度重なる不祥事に対する責任をどのように感じている

のか、そして、今後どのように取り組んでいくのか、市長のコンプライアンスに対する認識について伺います。

が寄せられ、これらの継続的な実施の必要性を感じているところで

度重なる不祥事に管理監督する立場の職員が関与するなど、市民の皆様の信頼を著しく損ねてしまったことについて、この事態を非常に重く受け止めています。二度とこのような不祥事を起こすことのないよう、コンプライアンス遵守の体制や仕組みを再確認し、十分な予防措置を指示し、市民の皆様の信頼回復を図っていく決意です。



### 介護保険制度 基金を活用し介護保険料の軽減を



**問** 介護保険制度は非常に重要な役割を示していますが、当初発足時の基準額は2800円、今は5650円といつて、ちょうどこれは倍です。そのくらいに介護保険料が跳ね上がった、今の介護保険制度を維持しているということになって、このこと自身がまた様々な問題を生んでいるということになっていて

ます。介護保険制度の問題については非常に国民の関心も高く、利用者も多いし、お金をどう払うかということの大変大きな問題になっていると私は認識をしております。

隣の土浦市などの基金残高が、石岡市と土浦市を比べると、当市が比較論で多いという状況になっています。第10期介護保険事業計画での介護保険料の軽減を、そういう現状も踏まえてぜひお願いしたいと思いますが、そのことについてはの考え、あるいは可能性について伺います。

**答** 今現在の基金額ですが、令和6年3月末現在で15億2927万3176円と

なっています。令和6年度から第9期介護保険事業計画が始まり、介護報酬と保険料が改正され、現時点においては、介護保険連営の収支についてまだ実績が出ていないという状況があります。今後は

現在の介護給付費支払準備基金の残高について伺います。私どもが調べると、例えば近

実績を踏まえながら、持続可能な制度運用の観点と、介護サービス費の伸び率等を考慮して、第10期事業計画に向けて、適正に必要な保険料を算出していきたいと考えます。

なお、介護給付費支払準備基金の活用など、介護保険料上昇抑制などの検討についても、第10期事業計画策定に向けて、併せて検討を進めていきたいと考えます。



▲石岡市ふれあい長寿プラン～第9期～





あかね 茜  
にっ 新田

## 防犯対策補助制度の導入で、安心して暮らせる石岡市へ



動画

**問** 居住する住宅等への防犯対策として、防犯カメラやセンサーライト等の防犯用品の購入、また機器設置に伴う費用の補助制度を導入してはどうかと考えます。近隣では、笠間市が既に実施をしており、居住する住宅または地域管理の集会所に対して、防犯対策として防犯用品の購入、また機器設置に伴う費用を補助する制度です。また、録音機能等の偽電話詐欺対策に効果が高いとされている電話機への交換についても、補助の対象としているそうです。ぜひ、このような補助制度を石岡市でも実施していただきたいと思いますが、考えを伺います。

れば、安心して暮らせるまちということでのイメージアップにもつながると思います。ぜひ防犯対策補助制度を導入していただきたいと思いますが、市長の考えを伺います。

**答** 防犯カメラやセンサーライト等の防犯用品、機械設置に伴う防犯対策補助などの考えですが、ご指摘のとおり、侵入強盗などの犯罪の報道が多くなされた状況で、当市としても、社会情勢、先進事例等を注視し、犯罪に効果的な対策の補助です。今後笠間市の事例や、対象が個人または行政区であるとか、多岐にわたる内容ですので、さらに調査研究をしながら、石岡警察署と協議を行

い、どういったものが対策として有効か考慮しながら、設置に向けて前向きに検討していきたいと考えます。  
近年、多くの侵入強盗、侵入窃盗が全国で報道されており、人命を失うような痛ましい事案もあります。市内でこのような事案を生させないためにも、石岡警察署及び地域と連携を密にしなから、より効果的な対策を行っていききたいと考えます。



すずき やすひと  
鈴木 康仁

## 社会情勢や人口流動が変わっていく中、都市計画区域の見直しは



動画

**問** 都市計画区域の見直しは、人口減少や本場に環境の変化に対応し、持続可能な都市構造を実現するために不可欠であります。当初の都市計画ができてから、社会情勢や人口流動が変わっているとあります。実際に企業誘致をこれから進めていくこのまちが、人口流動を多く取り入れていくと、なるときに、その土地は売っていきなかつたり、買えなかつたり、貸していただけなかつたりという問題が出てきている中で、今後このまちを維持するために、新しい方を迎え入れるためには、都市計画というのを見直す考えはあるのか伺います。

うな認識なのか、そして、どのような展望を持っているのか、伺います。

**答** 見直す場合の課題としては、土地利用の規制がなくなること、市街地が低密度に拡散していく可能性があること。一定の人口集積に支えられている商業、医療、福祉などの生活サービス機能や公共交通の維持が困難になることが想定されるほか、インフラの集中投資が難しくなり、これまで以上にコストが増加することが見込まれてくると考えます。また、これまで市街化区域においては、都市計画税を課税し、市街化区域を中心にインフラ整備を行いました。線引きを廃

止することで、都市計画税の見直しも検討する必要があります。インフラ整備に関わる財源の確保も課題になるものと考えます。  
多様なニーズに対応した居住環境の充実を図りたいと考えますが、全国的に人口減少が進む中で、様々な手段を積み重ねていくことが重要であると認識しています。将来的な都市計画の見直しの必要性についても、学識経験者や線引きの決定主体である県などの意見を聞きながら調査研究を進めるよう、担当部局に指示していきます。



▲石岡市都市計画の情報はこちら

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



やすみち 村上 泰道

# 社会福祉協議会運営の安定は地域の安定 行政との協力体制を



動画

**問** 石岡市の社会福祉協議会の運営について、組織、人員体制、主な事業内容について、現在どのように運営されているのか、行政の認識している範囲で伺います。

運営費の自主財源である会費を、払う人と払わない人が市民の中にいる。でも、サービスは全ての市民が受けている。払う人は真面目に払っている。払わない人は、払っていないけれどもサービスの恩恵は受けている。会費を集めるという行為が難しいのが現状ではないかと感じますが、今後の運営についてどういった課題を認識しているのか伺います。

前の感覚になるように、また、ある一定の会費収入を自治会に任せるのではなくて、行政側がきちんと予算の補填をするという行為が、今後必要なのではないかなと私は感じます。

## 答

石岡市社会福祉協議会の実務に従事する職員の配置先としては、総務担当、福祉担当、それから高齢福祉担当の3つの担当に分かれて、各分野の事業を展開していると認識してま

す。また、資格者による事業として介護支援の事業は指定基準で定められている有資格者の配置は充足しているものと認識してま



▲社会福祉協議会（本所）が置かれているふれあいの里石岡ひまわりの館

けていくためには、社会福祉協議会の組織や財源を支える会費、それから、運営体制の状況の把握に努めるとともに、地域福祉に対する理解を広め、社会福祉協議会が行っている役割について、市民や地域コミュニティの皆様にも知ってもらうことが大切と考えますが、一方でまた課題であるという認識で捉えているところです。



たまづくり よしみ 玉造 由美

# 未来ある子どもたちのために不登校対策を



動画

## 問

現在、全国での不登校数は、小中学校で34万6482人、過去最高となり、大変深刻な問題になっています。そこで、小中学校の不登校支援の現状について、これからの方向性として具体的な支援体制について伺います。

不登校を未然に防ぐ自己の存在感や充実感を感じられる心の居場所、学校をそのような心身の居場所にするというようなことは大変重要なことです。ぜひとも未来ある子どもたちのために、全力で取り組んでいただ

## 答

たいと思います。

市内小中学校の不登校児童生徒については、教育相談室あすなろで相談・支援をしています。全中学校に校内フリースクールを設置し、学校には行けるが教室には入れない生徒の学びの場、居場所として支援をします。校内フリースクールが設置されていない小学校には、教室以外の別室、オンラインで対応を行っています。教育支援センターを設置し、主に不登校についての相談・支援に取り組みできま

した。教育相談室あすなろに加え、専門相談員を配置し、不登校児童生徒の複合的な要因に一体的に相談・支援できる体制を整えてい

たいと考えます。

相談体制として、子育てに関する様々な悩み事の総合窓口として、教育支援センターを設立し、あすなろ相談員に加え専門相談員が連携し、保護者の悩みに対する相談・支援を進めます。保護者が一人で抱え込まない、家庭で抱え込まず、関係する多くの人の力も借りながら、子育てに関わっていただける体制を整えます。保護者同士互いに相談し、情報を共有、支え合ったりする保護者同士のコミュニティの構築を図っていただければと考えています。

た。教育相談室あすなろに加え、専門相談員を配置し、不登校児童生徒の複合的な要因に一体的に相談・支援できる体制を整えてい

教育支援センター 3つの柱	
1.	ワンストップの相談支援体制
2.	手厚い支援
3.	誰ひとり取り残さない支援

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



すずき まさひさ  
鈴木 将史

## 多くの市民が利用する主要幹線道路 冠水問題への対策を



動画

**問** 主要幹線道路と  
いうことで、柏  
原工業団地内の国道  
355号線と県道7号  
線の冠水問題につい  
て伺います。近年、大  
型化する台風や頻発化  
するゲリラ豪雨の影響  
において、この箇所  
については、通行止  
めにならなくても、豪  
雨時には毎回のよう  
に冠水している箇所  
であり、市民の方は  
もちろん、工業団地  
内で働く方々から  
も、何とか改善をし  
てほしいという声  
が多く上がっている  
のは、市としても把  
握をされていると  
ころだと思いま  
す。石岡市として、  
この冠水問題につ  
いてどのような対  
策を行っている  
現状なのか、伺  
います。

として行っていく整備  
や管理、補修等の対応  
について、市長にも見  
解を伺います。

### 答

大雨や台風の接  
近が予想される  
ときには、道路建設課  
において、柏原工業団  
地周辺の道路及び排水  
路のパトロールを行  
い、落ち葉やごみが詰  
まっている場合、除去  
などを行い、スムーズ  
な雨水排水を図って  
いるところです。それ  
でも冠水が発生した場  
合には、現地確認の上  
、県と情報共有を行  
いながら、必要に応じ  
て通行止めなどの対  
策を行っています。

この石岡市内主要幹  
線道路について、当市

当市を通る国道や県  
道などの幹線道路の管  
理や整備については、  
国や県へ様々な要望活  
動を行っています。幹

### 車両通行



線道路の管理や整備に  
ついては、防災の観点  
からも、市民の安心安  
全な日常生活に寄与す  
るだけではなく、道路  
交通の環境改善によ  
って景気好循環を生み  
出し、地域の活性化に  
つながるものと考えま  
すので、引き続き、関  
係機関に道路整備事業  
のさらなる促進と十分  
な予算確保について、  
しっかりと要望してい  
きます。



とみた まさし  
富田 雅史

## 市の魅力あるスポーツを地域振興に生かす体制整備を



動画

**問** 石岡市の立地や  
地形を生かした  
ハイキングやスカイ  
スポーツ、トレイル  
ラン、サイクリング  
などのスポーツは、そ  
れ十分な魅力を持ち  
ながら、それを生かし  
切れない状況だと考  
えます。魅力を発信  
していく体制につ  
いて、スポーツと旅行  
や観光を組み合わせた  
スポーツツーリズムや  
、スポーツの魅力を  
発信するスポーツコミ  
ッションという組織  
が設立される地域  
振興を実施してい  
る自治体もあります。  
当市でもスポーツを  
地域資源として活用  
していくため、一本  
化されたスポーツを  
推進する体制整備  
に対する考えを伺  
います。

やスポーツコミッシ  
ョンに取り組むこと  
が目的ではなく、当  
市特有のスポーツを  
みんなに知っていただ  
きたい、地域振興に  
生かしたい、ただ  
きたいので、その  
方向性を示してもら  
いたいと考えます。  
市長の考えを伺いま  
す。

### 答

スポーツツーリ  
ズムはスポーツ  
参加や観戦を目的  
とした旅行やスポ  
ーツと観光を組み  
合わせた取組で、  
各地では取組を推  
進するため、スポ  
ーツコミッション  
が組織されている  
ところでは、自  
治体だけでなく、  
スポーツ協会や  
観光協会、スポ  
ーツ・観光産  
業等の民間企業  
等が一体とな  
った組織で、  
設置市町村では、  
スポ

スポーツツーリズム

スポーツツーリズム

スポーツツーリズムによるまちづくり、  
地域振興に連携・協  
した取組が進めら  
れていると認識して  
います。コミッシ  
ョン設立には、全  
庁的な取組、民間  
企業等を巻き込  
だ取組が必要にな  
ります。



▲第10回筑波連山天空  
ロード&トレイルラン  
inいしおか大会

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



いいむら 飯村 かずお 一夫

## 各小中学校跡地利用計画 計画性をだし、早めの廃 校跡地の活用を



動画

**問** 統合再編計画は、今後、小中学校統合に向けた方向性を示す大切な計画であると思っております。内容について検討を進めていただき、着実に統合が実現できるよう、事業を推進していただければと思います。各小中学校の跡地利用計画について、閉校した学校の跡地活用について伺います。

活用を考えると、劣化が進み、建物を解体することになったり、利活用も見いだせないと、状況に応じて、解体の検討も進めていかなければならないということになるかもしれません。早めに計画性を出していただきたいと思えます。

統合再編計画については、地域の人も待ち望んでます。将来の子どもたちのためにも、併せて教育環境の整備についても、しっかりと取り組んでいただければと思います。

### 答

旧高浜小学校、旧三村小学校、旧関川小学校について

は、政策企画課にてサウンディング調査を実施し、民間事業者の自由な発想に基づく利活用アイデアをいただきました。今後、必要に応じ、地元説明会の開催、地域の意見も伺いたいと考えています。

また、北小学校については、子どものこと、学校教育のこと、子育てに関する、家庭教育のことについて一体的に相談・支援する施設として、石岡市教育支援センターを4月から開校します。閉校した学校の維持管理コストが生じていますので、早期に利活用の方向性を検討していく必要があると考えています。市長公室と協力しながら、確認や検証を行いたいと考えています。

統合再編計画については教育委員会における最優先課題であると認識しています。議員ご指摘の廃校跡地の活用について、様々な部局と庁内で連携を図り、スピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。



▲旧北小学校に設置された石岡市教育支援センター

## 市有公共用地貸借に関する調査特別委員会

### ～これまでの実施内容～



会議録

市有公共用地貸借に関する調査特別委員会は、令和5年に開催された「FooD FooD 2023」及び令和6年に開催された「Otomeshi Festival 2024」に伴う民間事業者への市有公共用地貸借に関して、市条例及び規則に反した後援名義及び施設の使用申請及び、これらを許可・承認した石岡市の不当な行政行為と施設の目的外使用により生じた石岡市の損害を明らかにするため、一連の事務処理とそれに至った経緯の調査を行うことを目的として令和6年12月20日より設置されました。令和7年4月15日までの委員会の開催状況は、下記のとおりです。

委員会についての詳細は二次元コードから

**令和6年12月20日** 設置及び正副委員長の互選

**令和7年 1月21日** 地方自治法100条に基づく調査権の説明、委員会運営等の決定、調査に関する記録の提出を求めることを決定

**令和7年 2月 3日** 提出された記録の報告、次回委員会での職員3名の証人尋問実施の決定

**令和7年 2月21日** 提出された記録の確認、「FooD FooD 2023」に関する後援名義・施設使用・市の支援に関して担当であった職員3名の証人尋問の実施、記録の追加提出を求めることを決定

**令和7年 3月27日** 提出された記録の報告（資料なし）、次回委員会での職員4名の証人尋問実施の決定、記録の追加提出を求めることを決定

**令和7年 4月15日** 提出された記録の確認、「Otomeshi Festival 2024」に関する後援名義・施設使用に関して担当であった職員4名の証人尋問実施、記録の追加提出を求めることを決定

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

# 常任委員会の活動

石岡市議会には3つの常任委員会が置かれており、各委員会は、担当する部門に関する市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。委員会は議会の閉会中も開催しており、積極的な議論が交わされています。

ここでは、最近の委員会において議論された主な内容をご紹介します。

## 総務企画委員会

3月17日の委員会では、園部出張所について、執行部より当面は存続するということが現在に至っていますが、マイナンバーカードを利用したコンビニでの証明書の交付の普及等を鑑みると、取扱件数は更に減少することが予測されることについて報告がありました。行政サービス提供を維持する代替機能について検討した上で、郵便局への業務委託を有望な代替案と考え、園部出張所の廃止と令和7年10月の事務委託開始を目指していきたいとの説明がありました。

## 園部出張所のあり方について

これを受け、委員からは「取り急ぎ10月に実施したい意向だとは思いますが、地域の方々には理解をしていないのではないか」との質問に対し、執行部からは「既に区長会長さんには今後の説明を行っており、次回の役員会で区長さんから役員の説明をいただき、状況によっては執行部も説明に行くという段取りとなっている」との答弁がありました。

### 園部出張所 所管業務

1. 市税等の収納
2. 諸届出の受付
3. 諸証明の発行

## 文教厚生委員会

少子化の進展や教師の働き方改革、生徒が希望する活動の多様化を背景として、学校で行っている部活動を休日に学校外（地域）で行う「部活動の地域展開」の取組が現在進められています。

2月4日開催の委員会では、執行部から令和5年度に開始したモデル事業のこれまでの状況について報告がなされ、令和6年度は陸上・剣道・吹奏楽・野球・サッカーの5種目で実施していることや、国の示す方向性に基づき、令和13年度までには休日に全ての部活動を地域で展開できるように進めていき

## 部活動の地域展開

たいとの説明がありました。

委員からは、指導者の人数や謝礼の有無等についての質問のほか、「だんだんに平日の部活動はなくなるということか」との質問があり、執行部からは「まずは休日に限って進めるということと考えており、平日については当面の間は学校部活動として行っていく」との答弁がありました。



## 産業建設委員会

3月18日に開催した当委員会においては、一般会計等補正予算をはじめ、いばらきフラワーパークの入園料金を改定するための茨城県フラワーパーク条例の一部を改正する条例に関する議案など、付託された議案14件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。

所管事務の調査では、2月に発生した八郷上水道の水位低下について執行部より説明があり、委員からは石岡市でも施設が老朽化している中、抜本的に解決する対応を検討しているのかや水は生活の元であるので、漏水しているような地区に、果たして若

## 上水道の漏水対策について

い人は住むのかななどの意見がありました。執行部からは、今後県との広域化に向け、国の交付金を活用し、付設替の工事について事業を多く進めていけるよう、投資・財政計画を県とともに作っていく予定になっていることや、今後も管路の修繕費など厚く予算が取れるよう、努力していきたいとの答弁がありました。



▲市内道路での漏水

## 議会報告会報告書 ホームページへ掲載！



報告書

第9回となる令和6年度の議会報告会を、令和7年1月28日（火）に石岡商業高等学校で開催しました。

報告書では、報告を行った各常任委員会の資料や質疑・意見交換の内容、生徒の皆さんからのアンケート結果などを掲載しています。

議員と若い世代が直接意見を交わすことで、議会を身近に感じていただくとともに、開かれた議会の実現のおおきな一歩となりました。

常任委員会	掲載している所管事務の調査内容
総務企画委員会	ふるさと納税について
文教厚生委員会	新しい保健センターについて
産業建設委員会	石岡市商工観光事業について



## いしおか市議会だより、 デジタルブック配信中！



▲カタログポケット



▲ ibaraki ebooks

「いしおか市議会だより」は、紙媒体での配布やホームページへの掲載とあわせ、10言語翻訳や音声読み上げ機能を持つ「カタログポケット（カタポケ）」と、県内自治体の広報誌などが集約された「ibaraki ebooks（イバラキイーブックス）」でデジタルブック配信しています。スマートフォンやタブレットなどで、ぜひアクセスしてみてください！

※デジタルブック配信は、発行日からおおむね1週間以内に行っています。

※アプリ本体の利用は無料。ダウンロードや閲覧に必要な通信費は利用者負担となります。

### 編集後記

いしおか市議会だより第95号をお届けいたします。令和7年第1回定例会では、市長から令和7年度の市政運営に関する所信と施策概要についての説明がありました。それを受けて、会派を代表する議員による代表質問では、4名がリーディングプロジェクトに示された施策の内容と市長の決意をいただきました。

続いて、令和7年度の予算を詳細に審議する「予算特別委員会」が4日間にわたって開催され、9名の議員が詳細にわたって質疑を行いました。

このような議会の内容は、この「いしおか市議会だより」をはじめ、ホームページの録画映像や会議録などからもご確認いただけます。今後とも、市民のみなさまに議会の情報をわかりやすくお届けできるよう、より一層努力してまいります。（小松）

#### ●議会広報委員会

委員長 川井 幸一 副委員長 新田 茜  
委員 小松 豊正 委員 谷田川 泰  
委員 飯村 一夫 委員 中根 淳一

## 第2回定例会の予定

6月

月日	内容	場所	中継
6月 3日(火)	開会日（議案の提案理由説明など）	本会議場	○
6月 9日(月)	一般質問	本会議場	○
6月10日(火)	一般質問	本会議場	○
6月11日(水)	一般質問	本会議場	○
6月12日(木)	議案質疑	本会議場	○
6月13日(金)	文教厚生委員会	委員会室	
6月16日(月)	総務企画委員会	委員会室	
6月17日(火)	産業建設委員会	委員会室	
6月18日(水)	議会運営委員会	全員協議会室	
6月19日(木)	閉会日（議案の採決など）	本会議場	○

